令和６年度　第４回裾野市上下水道事業審議会　会議録及び議事録要旨

日　時：令和７年１月２１日（月曜日）　１０時から１２時まで

会　場：裾野市役所４階４０１会議室

出席者：委員９名（順不同）

・小林　建次　委員（裾野市東地区区長会）

・杉山　 孝　 委員（裾野市西地区区長会）

・田中　正延　委員（裾野市深良地区区長会）

・臼井　正明　委員（裾野市富岡地区区長会）

・杉山　幸彦　委員（裾野市須山地区区長会）

・中川　好大　委員（裾野市商工会） （副会長）

・有井　静子　委員（裾野市消費生活団体協議会）

・大竹　七郎　委員（市民委員）

・齋藤　利晃　委員（日本大学理工学部土木工学科教授） （会長）

事務局　８名

・石井水道部長

・大庭上下水道経営課長

・山田上下水道工務課長

・服部上下水道工務課主幹

・芹澤上下水道工務課主幹

・柏木上下水道経営課係長

・市川上下水道経営課主任

・佐々木上下水道経営課主任

傍聴者：３名

次　第 進行：大庭上下水道経営課長

１　開　会（省略）

２　会長あいさつ（省略）

３　議　事

1. 審議会の公開・非公開について
2. 裾野市水道事業経営戦略改定作業の経過報告について
3. 裾野市公共下水道事業経営戦略改定作業の経過報告について
4. 裾野市簡易水道事業 非常時対策送水管複線化工事の報告について
5. 令和5年度3事業決算における経営状況に対する意見について
6. 裾野市上下水道耐震化計画について
7. 裾野市公共下水道事業基本計画の見直しについて

【議事１】審議会の公開、非公開について

事務局案を説明し委員質疑なし。下記のとおりとなった。

議事7「裾野市公共下水道事業基本計画の見直しについて」は、地元説明会、パブリックコメントの実施により公開されたものとなったので、今回の審議会での議事は、プライバシーに関することや料金の改定に関する話はないので、会議は公開、議事録は要旨公開となった。

『議事の要旨』

**1. 水道事業経営戦略の改定報告**

* 現行の経営戦略（令和2～11年度）は中間年にあたり、社会情勢や工事費の変動、総務省の通知を受け、令和7年度からの新たな10年計画（～令和16年度）を策定中。
* 経営指標11項目で類似団体と比較し、裾野市は概ね良好。ただし「管路更新率」が低く、令和7年度に更新計画を策定予定。
* 人口減少に伴い水道料金収入も減少見込み。令和16年度までは現行料金で運営可能と試算されるが、建設改良積立金は令和17年度に枯渇の恐れがあり、将来的な料金改定の必要性が示唆された。

**2. 公共下水道事業の進捗報告**

* 県の汚水処理単価が確定し、今後の財政計画に反映。
* NJS社と契約し、全体計画区域の見直しを踏まえた経営戦略を策定中。
* 今後のスケジュールに基づき、引き続き検討を進行。

**3. 簡易水道事業の報告**

* 非常時対策として送水管の複線化工事を実施。
* 今後は第5水源ポンプの更新に向けた取組の検証。

**4. 経営状況の確認と意見**

* 各事業の経営状況は大きな問題なしと確認。
* 将来的なインフラ維持に向けた人材不足や、一般会計への依存体質への懸念が挙げられた。
* 特に簡易水道事業における老朽化と財政・人材面での不安が強調された。

**5. 上下水道耐震化計画の説明**

* 能登半島地震を受け、国の要請により令和7年度から5年間の耐震化計画を策定。
* 優先施設（避難所等）を中心に、管路・施設の耐震化を段階的に実施予定。
* 裾野市の耐震適合率は高水準。今後も更新計画と連動して整備を進める。

**6. パブリックコメントの実施結果**

* 下水道基本計画見直しに対し、8名から意見提出。
* 主な意見は、千福が丘地区の処理方式、市の周知不足、将来人口減少への懸念、費用算出の不透明さなど。
* 市は、千福が丘を下水道計画区域外とし、今後は浄化槽方式での支援策を検討中と回答。
* 回答内容の明確化や誤解を招かない表現への修正が求められた。浄化槽方式と断定してよいか？

**7. 委員からの主な意見・提言**

* 将来の料金改定は前倒しで検討すべきとの意見。
* 耐震化の進展により災害時対応の軽減が期待されるが、費用対効果のバランスも重要。
* 若者の流出対策として、企業誘致や定住促進など市全体の政策強化が必要との指摘。

４　その他

・次回以降の上下水道事業審議会の日程について

〇　第5回審議会 令和7年2月19日（水曜日） 10時から 市役所４０2会議室

〇　第6回審議会 令和7年3月4日（火曜日） 13時30分から 市役所402会議室

及び市長答申 14時から市長答申（会場：402会議室）

５　閉　会

以上